

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： **ガンマナイフ治療における頭蓋底可動部や頸椎 instability のある患者への頸椎カラー＋マスク治療における精度誤差の検討**

研究の目的

ガンマナイフ治療は ESPRIT®（国保黒石病院で稼働中）という新機種登場により、頭蓋骨の底部から頸椎の上部まで照射可能といわれています。しかし首が動くことにより頭蓋骨底部の脳や脊髄が移動する場合があります。また頸部脊椎や脊髄に転移がある場合は頸部を動かさないように固定する必要があります。ガンマナイフ治療の際、従来の固定やマスク固定のみでは延髄下端や上位頸椎病変の照射精度に課題があります。

本研究では**頸椎カラー＋マスク併用固定法**にてガンマナイフ治療を施行し、その有効性と精度誤差を検討することで、頭蓋骨底部の腫瘍や頸椎病変を有する患者に対して安全かつ精度の高い治療手法の検証と治療確立を目的とします。

研究実施期間： 実施許可日～2028 年 8 月 31 日

対象となる方： 1， 2024 年 7 月～2025 年 6 月までの期間に当院脳神経外科外来から黒石病院ガンマナイフセンターへ治療を依頼し、治療終了後当院外来にて定期フォローを行っている全ての脳腫瘍症例。
2， 頸髄または頸椎転移を有し、頸部の固定が常時必要な転移性脳腫瘍症例で、代替え治療が不可能もしくは困難な症例。

利用させていただきたい試料・情報について：

黒石病院でのガンマナイフ治療記録、データ、報告書は当院のカルテ内に保管されています。必要な資料データは全て当院のカルテ内の記録もしくは画像サーバーから採取します。

検討項目としては、

- 1， 治療時の位置精度誤差の検討。
- 2， 治療計画と実際の照射位置の一致率の検討。
- 3， 治療完遂率および有害事象の検討。
- 4， 3 ヶ月後、6 ヶ月後の腫瘍縮小判定。
- 5， 個別症例の背景の検討。

等を予定し、その有効性と精度誤差を検討することで、同じような病変を有する症例に対する安全かつ精度の高い治療手法の確立をめざします。

なお、データの利用にあたっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを仮名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また将来学術的な意義が明らかになった場合、もしくは患者にとって不利益な情報が明らかになった場合には速やかに公表します。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください

本件連絡先

医学教育学講座・浅野研一郎

連絡先 0172-39-5250/Mail asanoken@hirosaki-u.ac.jp